

母国向け日本酒発売

自らが手掛けた日本酒を紹介する
コディーさん＝飛騨市古川町で



海外に日本酒を広めよう。酒造店の日本酒を飲んだこと、飛騨市古川町の渡辺酒造。フルーティーでおいしい」と店に米国人従業員の人、タと感動。すぐに履歴書を書き、リル・コディーさん(右)が手。渡辺酒造店を訪れたという。掛けた日本酒を米国で発売す。コディーさんは「酸味がある。純米酒「酒の忍者」など、すっきりとした味が特徴。三種類の醸造を中心になつて。説明する。同時に売り出す純米大吟醸など二種類の酒も自手掛け。ラベルのデザインも担当した。七月にサンフランシスコで開かれるイベントに出品し、その後、本格的に輸出する計画だ。

「酒の忍者」は、七百二十出身。日本人で高山市出身の、心掛入りを二本千八百程度妻と結婚後、二〇〇六年に来で売り出す。国内での販売予定日した。義父に勧められ、渡辺定はない。(清水裕介)

古川の渡辺酒造店 米国人蔵人・コディーさん手掛ける